

地域でできる食品ロス削減運動 ～フードドライブの取組報告から～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



(一社) 北海道消費者協会
主幹 道高 真理

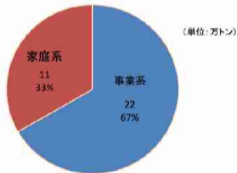
目標12. つくる責任 つかう責任

持続可能な消費と生産のパターンを確保する



北海道の食品ロスの発生量（平成29年度(2017年度)推計)

平成29年度(2017年度)
北海道食品ロス量 ➡ 33万トン



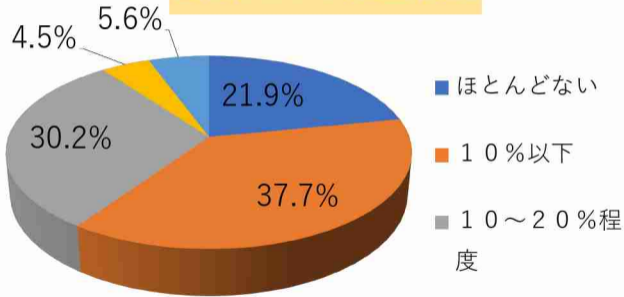
	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
食品ロス(年間)	39万トン	34万トン	33万トン
うち事業系食品ロス	28万トン	23万トン	22万トン
うち家庭系食品ロス	11万トン	11万トン	11万トン

※ 農林水産省の推計値等を参考に北海道で推計

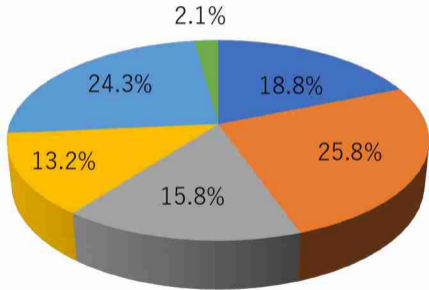
食品ロス削減アンケート

- 1) 調査対象：道内30市37町2村（69市町村）
- 2) 調査方法：70地域消費者協会の協力を得て実施
- 3) 調査時期：2019年12月～2020年1月
- 4) 回収状況：配布枚数 694枚
回収枚数 645枚（回収率：92.9%）

食品ロスの発生状況



食品ロスの発生要因



■ 食べ残し

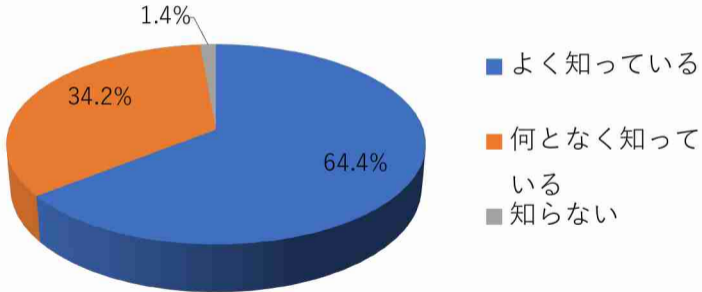
■ 賞味・消費期限切れ

■ 買いすぎ

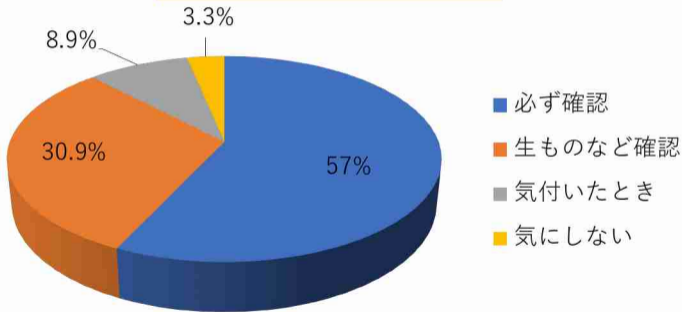
■ 作りすぎ

■ 無駄なく使い切れて
いない

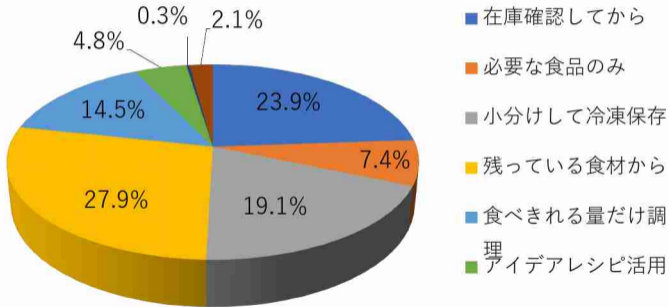
賞味期限と消費期限の違い



期限を確認して購入？



食品ロス削減の工夫策



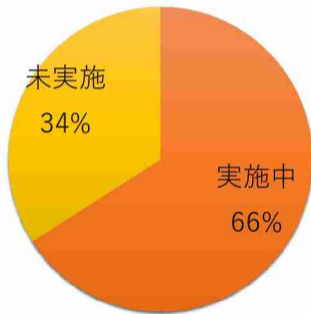
地域消費者協会の取り組み状況調査

調査期間 9～10月

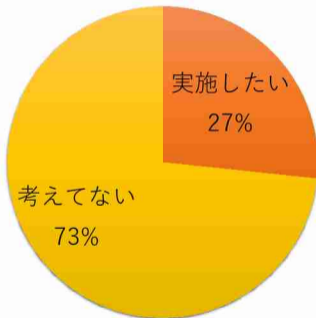
調査対象 全67地域消費者協会

回答状況 回答：47協会

食品ロス削減取り組み状況



今後の予定



北海道食品ロス削減推進計画（令和3年3月）

道民運動として一人一人が食品ロスの削減を実践
～生産地だからこそ“もったいない”の心を大切に～

【数 値 目 標】

（1）食品ロス発生削減目標

平成29年度(2017年度)を基準に令和12年度（2030年度）までに、食品ロスを20%削減するものとします。

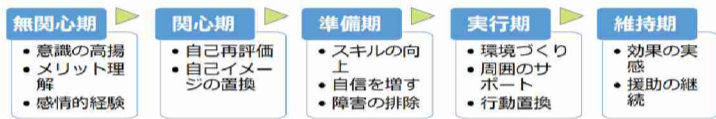
（2）食品ロス削減に向けた行動目標

食品ロス削減のために何らかの行動をしている道民の割合を、令和5年度（2013年度）に80%以上とします。

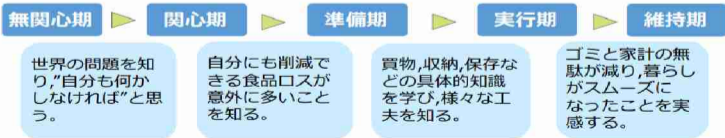
区 分	2017年度	2030年度	削減量
食品ロス量	33万トン	26万トン	△7万トン
うち事業系	22万トン	17万トン	△5万トン
うち家庭系	11万トン	9万トン	△2万トン

区分	2018年度	2023年度
家庭で実施	69%	80%
外食時に実施	62%	

行動変容ステージモデルで実践につなげる 食品ロス削減 (Prochaska & Velicer, 1997)



食品ロス削減 行動変容の段階例



STAGE 1 無意識から関心へ

2 飢餓を
ゼロに



飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成する

12 つくる責任
つかう責任



生産と消費のパターンを持続可能なものにすることを促進する

12.3 2030年までに世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減。

12.5 廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。



国際連合広報局
資料より

飢餓に苦しむ人々：FAO(国連食糧農業機構)の報告

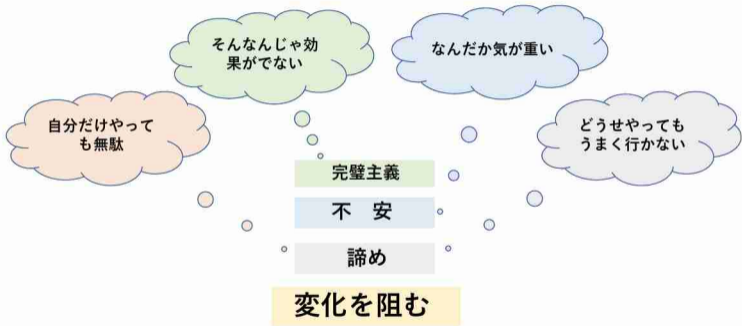
- ・ 世界では9人に1人が飢えに苦しむ
- ・ 1分間に17人が飢餓で死亡している
- ・ 世界全体では3人に1人は何らかの栄養不良の状態

日本における膨大な食品ロス量（1人当たり換算）

- ・ 年間約51kg ⇨ 1週間で約1kg。
- ・ “お茶碗約1杯分（約136g）の食べ物”が毎日捨てられる。
- ・ 半分は家庭が排出

出典：鳴門教育大学「行動変容ステージモデルで実践につなげる食品ロス削減」

STAGE 2 関心から準備へ



自己効力感を高める方法 10種類

心理的な壁を超え、前向きに取り組めるには・・・

① 成功体験

② 代理体験

③ 社会的説得

④ 生理的・感情的状態

⑤ 行動に対する意味付けや必要性

⑥ 行動の方略

⑦ 原因の帰属

⑧ ソーシャルサポート

⑨ 認知能力

⑩ 健康状態

生活困窮者自立支援制度における支援状況調査 集計結果（厚生労働省）

（平成27年4月～令和3年3月）

新規相談受付件数・プラン作成件数



※ 支援状況調査（令和2年度の数値は速報値）

仕事や家庭の状況、心身の不調など、なんらかの事情によって経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方からの相談

新規相談受付件数、新型コロナウイルスの影響等により急激に増加している。



出典：「第1回生活困窮者自立支援のあり方等に関する論点整理のための検討会」（厚生労働省）

家庭で発生する食品ロスは3つに分類

1. 食べ残し

食卓にのぼった食品で、食べ切れずに廃棄されたもの

2. **直接廃棄**

賞味期限切れ等により使用・提供されず、手つかずのまま廃棄されたもの

3. 過剰除去

厚くむき過ぎた野菜の皮など、不可食部分を除去する際に過剰に除去された可食部分

家庭系食品ロスの内訳

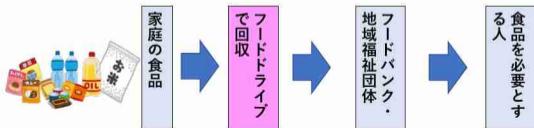
(平成28年度)



(出典) 環境省資料

「フードドライブ」とは

主に家庭で余っている食べ物を持ち寄り集めて、地域の福祉団体や、フードバンク等へ寄付します。スーパーの入り口や自治体のお祭り・フェスタなどで、食品を持ち寄るためのコーナーを設置するなどします。まだまだ認知度は低いです。お家で余っている食品を捨てるのではなく、必要としている人に届けることができるこのシステム。1967年にアメリカで発足後、世界では気軽に行われています。"ドライブ"とは、"寄付"という意味。



～メリット～
単位が小さいので
多種多様な
食品が集まりやすい

釧路消費者協会のフードドライブ活動



釧路消費者協会事務所にあるフードドライブの箱

事務所入り口の分かり易い場所に設置

釧路消費者協会の取り扱い量及び届けた回数（H28年度～R元年度）

年 度	取 扱 い 量	届 け た 回 数
H28年度(2016)	23.5kg	2回
29年度(2017)	51.2kg	14回
30年度(2018)	64.3kg	27回
H31・R元年度 (2019)	107.5kg	30回

4年間の合計重量は246.7kg



但し、重量ではなく、～枚、～個という食品も多数ある

室蘭消費者協会のフードドライブ活動

①理事学習会計画

- ・ 社会福祉協議会「コロナ禍における生活困窮の現状」
- ・ 子供食堂の運営者「子供食堂から見える今」

②市民に周知

- ・ ポスター（チラシ）の作成と掲示

『 **もったいないをありがとうに** 』

- ・ フードドライブ運動の開始を新聞報道 室蘭民報に掲載される
- ・ FMラジオで紹介 R3年8月6日放送



フードドライブにご協力ください

● **フードドライブって何??**
家庭に持っている食品・日用品類を持ち寄り、「こども食堂や福祉施設・団体などに寄贈する」活動のことです。



未開封のもの

消費期限 一か月以上

もったいないを「ありがとう」に...

消費期限までに食べられない、捨てようかな? という方もいれば、必要としている方もいます。フードドライブで廃棄をつなぎ「食品ロス=もったいない」を「ありがとう」にかえることができます。

● **食品ロスはもったいない!!**
いろいろな理由で捨てられる食品。いまやその量から社会問題・環境問題にもなっています。そのなかには充分利用できるものもあり「もったいない」の声とともに解消と活用の方策が考えられるようになりました。

お願いしたい食料品・食材

お米 (白米・玄米・アルファ米・パッく米)

麦

乾麺 (そば・うどん・寒麺・パスタ)

缶詰

レトルト食品

インスタント食品

調味料 (味噌・醤油・食用油・砂糖・みりん・種つゆ)

粉ミルク

菓子類



日用品類 (洗剤、紙オムツ、トイレペーパー、ティッシュなど) の提供も大歓迎!!

室蘭消費者協会

室ガス文化センター3階 電話0143-23-1580

ご協力いただける方は
入口の受付箱にお入れ下さい

気軽に事務所にお声かけ下さい

月・水・金曜日が開所日です
午前10時30分～午後3時

お受け取りできない食料品・食材

消費期限が一月未満のもの
汚損・破損・開封されているもの
肉類・魚介類・野菜など生鮮食品
料理酒・みりん以外のアルコール類







③協力者の拡大

○賛助会員企業へ 室蘭ガス（備蓄品提供）

○市内町内会連合会へ チラシ回覧の依頼

○市内町内会 個別に回覧依頼 200

町内会イベントにて、フードドライブを実施依頼

4 町内会承諾

『心寄せる仕組み作り』に挑戦

令和3年度実績 計6回

〈事例〉

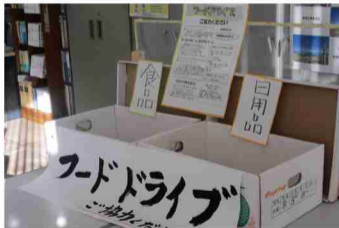
町内会長⇒消費者協会⇒社会福祉協議会⇒こども食堂



美幌消費者協会のフードドライブ活動

理事会メンバーで取組開始（3か月に1回実施）

【提供先】社会福祉協議会【提供回数】9月～2回実施



【提供内容】食品、ラップ台所洗剤、タオル 3.5kg リンゴ5個

江別消費者協会のフードドライブ活動

【提供先】社会福祉協議会内「くらしサポートセンター」 【実施回数】10月・12月 合計2回



美唄消費者協会のフードドライブ活動



【初実施日】

2021年10月29日（準備期間1ヵ月）

【収集した物品】

大根、カボチャ、ニンジンなどの野菜、オリーブオイル等、醤油、日用品（おむつ）

【提供先】

高齢者グループホーム等の福祉関係3施設

【令和3年度実績】

R3年10月～R4年1月

合計4回



士別消費者協会のフードドライブ活動

～「まなびとくらしのフェスティバル」より～



【実施日】2021年10月16日(土)

10:00～13:00

【収集した物品】・食料品388個/136kg

・日用品103個/26kg

【寄付してくれた方】25人

【当日配布人数】・食料品221人

・日用品96人

【配布方法】

入口で食料品と日用品の交換券各1枚を渡し、氏名を記載してもらったのち、陳列している物品から必要なものを選択します。券と物品を交換することでお渡しした数の確認ができました。

【寄贈】

米5kgを1,000円で販売し18人購入。18,000円を
士別市社会福祉協議会へ寄付しまし

登別消費者協会のフードドライブ活動 登別消費生活展（ミニ展示会）より



【実施日】 2021年10月18日～21日

【場所】 登別市民会館

【展示会の内容】

- ◆ 防災関係
（防災グッズ）
- ◆ SDGsに関すること
- ◆ 食の安全・安心に関すること
- ◆ 成年年齢引き下げに関すること
- ◆ 牛乳パックを利用した「紙すき」「絵手紙」



地域消費者協会のフードドライブ活動



No.	協会名	内容	開始時期	提供先
1	釧路消費者協会	常設設置	平成28年～	生活福祉事務所
2	室蘭消費者協会	常設設置	令和3年8月～	社会福祉協議会等
3	富良野消費者協会	常設設置	令和3年5月～	フードバンク
4	美唄消費者協会	常設設置	令和3年9月～	社会福祉協議会
5	北広島消費者協会	イベント型・会員周知	令和3年5月～	子ども食堂（大人も含む）
6	江別消費者協会	常設設置	令和3年9月～	社会福祉協議会内 「くらしサポートセンター」
7	北見消費者協会	常設設置	令和3年9月～	こども食堂
8	美幌消費者協会	常設設置	令和3年9月～	社会福祉協議会、こども食堂
9	登別消費者協会	イベント型	令和3年10月	フードバンク
10	士別消費者協会	イベント型	令和3年10月	学びとくらしのフェスティバル
11	釧路町消費者協会	常設設置※予定	令和4年5月～試験 的に実施予定	こども食堂（予定）

目標1. 貧困をなくそう

あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困を終わらせる



目標17. パートナーシップで目標達成しよう

実施手段を強化し、「持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップ」を活性化する



釧路消費者協会食品ロス重量実態調査（品目別・月累計）

調査人数9名（令和3年 8月21日～11月20日まで）



品 目	適 用
<p>野菜</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・大根のロスが多い（5件） 9 6 5 g ・ピーマン（4件） 1 3 5 g ・ニラ（3件） 4 0 g ・葉物類 <p>考察：葉物は傷みやすい 大根1本では多すぎる</p>
<p>果物</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・りんご（2件） 350g ・バナナ（2件） 240 g
<p>肉</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・（1件） <p>考察：冷凍保存で工夫</p>
<p>加工品</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・豆腐（3件） 5 1 0 g <p>考察：食べきれず廃棄、 残った豆腐は容器に移し水を取り替 える湯豆腐・味噌汁に使用</p>
<p>調理品</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・煮物（6件） <p>考察：調理の材料の種類が多くなるので大 量になり作り過ぎる</p>

SDGsから見えてくる消費者運動の未来の形

- 今さえよければ⇒中長期的な対応
- 周りの人のため⇒社会のため⇒地球存続のため
- 「一滴一滴の滴が集まれば、大河になる」

